

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3137624号
(U3137624)

(45) 発行日 平成19年11月29日(2007.11.29)

(24) 登録日 平成19年11月7日(2007.11.7)

(51) Int. Cl.

F I

G 0 9 F 1/08 (2006.01)

G O 9 F 1/08 Z

B 4 2 D 11/00 (2006.01)

B 4 2 D 11/00 Q

G 0 9 F 1/04 (2006.01)

G O 9 F 1/04 Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2007-7290 (U2007-7290)
(22) 出願日 平成19年9月20日(2007.9.20)(73) 実用新案権者 397009602
剣菱酒造株式会社
兵庫県神戸市東灘区御影本町3丁目12番
5号
(74) 代理人 100077780
弁理士 大島 泰甫
(74) 代理人 100106024
弁理士 稗苗 秀三
(74) 代理人 100106873
弁理士 後藤 誠司
(74) 代理人 100135574
弁理士 小原 順子
(72) 考案者 日下 貴久
兵庫県宝塚市雲雀丘1-8-57

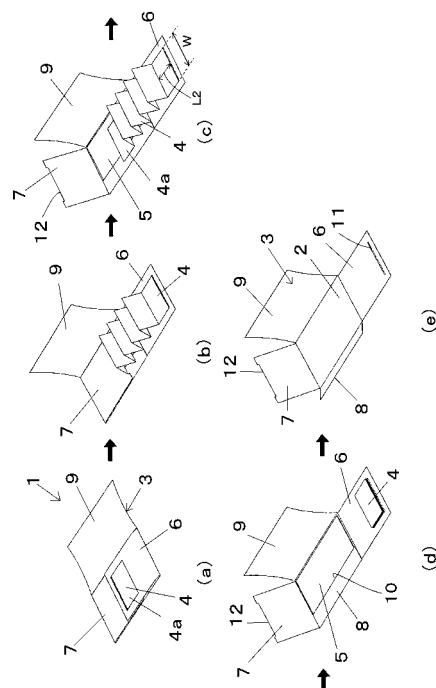
(54) 【考案の名称】印刷物

(57) 【要約】

【課題】顧客へのアピール度の高いパンフレット等の印刷物を提供する。

【解決手段】パンフレット1は、ベースシート2の上下左右の端部に、内方へ折り畳み可能な折り畳み片6～9を延設してなるベース体3と、蛇腹状に折り畳まれた第1の広告体4と、第2の広告体5とを備えてなる。表紙である上端の第4折り畳み片9を開いた後、右端の第1の折り畳み片6を開くと、両端が第1の折り畳み片6及び第2折り畳み片7に固定され、蛇腹状に折り畳まれていた第1の広告体4が飛び出すように展開する。次に、第2の折り畳み片7を開くと、下端の第3の折り畳み片8とベースシート2との間の収容部10に収容されている第2の広告体5に記載された第2の広告体5を見ることができる。

【選択図】図3



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

ベースシートの上下左右の端部に、内方へ折り畳み可能な折り畳み片を延設してなるベース体と、蛇腹状に折り畳まれた広告体とを備えた印刷物であって、前記広告体の長手方向の一端が第 1 の折り畳み片に着脱自在に固定され、他端が前記第 1 の折り畳み片と対向する位置にある第 2 の折り畳み片に着脱自在に固定され、前記第 1 の折り畳み片及び第 2 の折り畳み片を閉じた状態では前記広告体は折り畳まれ、第 1 の折り畳み片を開いた状態では前記広告体が展開することを特徴とする印刷物。

【請求項 2】

前記広告体の一端は、第 1 の折り畳み片に形成された係止穴に挿入して係止され、広告体の他端は、第 2 の折り畳み片とベースシートとの間に挟まれて固定されたことを特徴とする請求項 1 に記載の印刷物。 10

【請求項 3】

第 2 の折り畳み片の端部に凹状の切欠部が形成され、該切欠部に前記広告体の他端側が嵌まり込むことにより、広告体の幅方向へのずれを防止することを特徴とする請求項 2 記載の印刷物。

【請求項 4】

ベースシートの下端に設けられた折り畳み片とベースシートとの間が、第 2 の広告体の収容部となることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の印刷物。

【請求項 5】

ベースシートの上下左右の端部に、内方へ折り畳み可能な第 1 から第 4 の折り畳み片を延設してなるベース体と、蛇腹状に折り畳まれた第 1 の広告体と、第 2 の広告体とを備えた印刷物であって、 20

前記ベース体は、下端の第 3 の折り畳み片、左端又は右端の第 2 の折り畳み片、右端又は左端の第 1 の折り畳み片、上端の第 4 の折り畳み片の順に折り畳まれ、

前記第 1 の広告体の長手方向の一端が第 1 の折り畳み片に形成された係止穴に挿入することにより着脱自在に係止され、他端が第 2 の折り畳み片とベースシートとの間に挟まれることにより着脱自在に固定され、第 1 の折り畳み片及び第 2 の折り畳み片を閉じた状態では前記広告体は折り畳まれ、第 1 の折り畳み片を開いた状態では前記広告体が展開し、

第 2 の折り畳み片の端部に凹状の切欠部が形成され、該切欠部に前記広告体の他端側が嵌り込むことにより、広告体の幅方向へのずれを防止し、 30

下端の第 3 の折り畳み片とベースシートとの間が第 2 の広告体の収容部となり、

上端の第 4 の折り畳み片はベースシートの下端まで延設されて、表紙となることを特徴とする印刷物。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、案内・説明・広告などを記載した印刷物、特にパンフレットに関するものである。

【背景技術】

【0002】

企業が行う顧客への販売促進活動において、企業やその商品の案内・説明・広告などを記載したパンフレット等の印刷物は、多くの人にその存在を知らせ、興味を持ってもらうために重要な広報媒体であり、いかに顧客にアピールできるかが重要となる。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

一般的に、印刷物は、1 枚ものや、複数のページからなる小冊子等の種々の形態のものがある。また、文字だけでなく写真やイラストを用いることにより、顧客へのインパクトを持たせる手法が用いられているが、さらに顧客へのアピール度が高く、見た者の興味を 50

湧き立たせる印刷物が期待される。

【0004】

そこで、本考案は、上記課題を解決するためになされたもので、顧客へのアピール度が高い印刷物の提供を目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

上記目的を達成するため、本考案は、ベースシートの上下左右の端部に、内方へ折り畳み可能な折り畳み片を延設してなるベース体と、蛇腹状に折り畳まれた広告体とを備えた印刷物であって、広告体の長手方向の一端が第1の折り畳み片に着脱自在に固定され、他端が第1の折り畳み片と対向する位置にある第2の折り畳み片に着脱自在に固定され、第1の折り畳み片及び第2の折り畳み片を閉じた状態では広告体は折り畳まれ、第1の折り畳み片を開いた状態では広告体が展開することを特徴とする印刷物である。 10

【0006】

本印刷物は、広告体及び／又はベース体の表面又は裏面に、文字、絵、写真等を印刷して案内、説明、広告をするパンフレット、リーフレット、カタログ等として用いることができる。第1の折り畳み片を開くと、これに固定された広告体の一端が引っ張られると共に、他端は第2の折り畳み片に固定されているので、蛇腹状に折り畳まれていた広告が飛び出すように展開する。このように広告体が立体的に展開する様子は、視覚的にアピールが高いものとなる。

【0007】

また、広告体は第1の折り畳み片及び第2の折り畳み片に着脱自在に固定されているため、ベース体から取り外して、広告体を単独で使うことができる。広告体をベース体に着脱自在に固定する手段は限定されるものではないが、例えば、広告体の一端を、第1の折り畳み片に形成された係止穴に挿入して係止し、広告体の他端を、第2の折り畳み片とベースシートとの間に挟んで固定すればよい。広告体の一端は、係止穴から抜き取ることにより簡単に取り外すことができる。また、広告体の他端は、簡単に第2の折り畳み片とベースシートとの間から抜き抜くことができる。 20

【0008】

第2の折り畳み片の端部に凹状の切欠部を形成することができる。この切欠部に広告体の他端側を嵌め込むことにより、広告体の幅方向へのずれを防止することができ、広告体の安定性が高まる。 30

【0009】

また、ベースシートの下端に設けられた折り畳み片とベースシートとの間を、第2の広告体の収容部とすることができる。第2の広告体を収容できるので、広告の情報量を増やすことができる。また、折り畳み片とベースシートとの間から抜き出せば、第2の広告体もベース体から簡単に取り外して単体で使うことができる。

【0010】

また、本考案は、より具体的には、ベースシートの上下左右の端部に、内方へ折り畳み可能な第1から第4の折り畳み片を延設してなるベース体と、蛇腹状に折り畳まれた第1の広告体と、第2の広告体とを備えた印刷物であって、ベース体は、下端の第3の折り畳み片、左端又は右端の第2の折り畳み片、右端又は左端の第1の折り畳み片、上端の第4の折り畳み片の順に折り畳まれ、第1の広告体の長手方向の一端が第1の折り畳み片に形成された係止穴に挿入することにより着脱自在に係止され、他端が第2の折り畳み片とベースシートとの間に挟まれることにより着脱自在に固定され、第1の折り畳み片及び第2の折り畳み片を閉じた状態では広告体は折り畳まれ、第1の折り畳み片を開いた状態では前記広告体が展開し、第2の折り畳み片の端部に凹状の切欠部が形成され、切欠部に広告体の他端側が嵌り込むことにより、広告体の幅方向へのずれを防止し、下端の第3の折り畳み片とベースシートとの間が第2の広告体の収容部となり、上端の第4の折り畳み片はベースシートの下端まで延設されて、表紙となることを特徴とする印刷物である。 40

【0011】

この構成によると、表紙となる上端の第4折り畳み片を開いた後、右端又は左端の第1の折り畳み片を開くと、蛇腹状に折り畳まれていた第1の広告体が第1の折り畳み片に引っ張られて立体的に展開する。次に、第2の折り畳み片を開くと、下端の第3の折り畳み片とベースシートとの間の収容部に収容されている第2の広告体に記載された広告を見ることができる。このように、第1の広告体が立体的に展開する様子や、さらに折り畳み片を開いていくことにより出現する第2の広告体によって、意外性のありアピール度が高い印刷物となる。

【考案の効果】

【0012】

本考案によると、第1の折り畳み片を開くと、蛇腹状に折り畳まれていた広告が飛び出すように立体的に展開するので、顧客へのアピール度が高いものとなる。また、広告体をベース体から取り外して、広告体を単体で 사용할 10

【考案を実施するための最良の形態】

【0013】

以下、本考案の実施形態であるパンフレットを図面に基づいて説明する。図1は本実施形態のパンフレットの正面図、図2はA-A断面図、図3は本実施形態のパンフレットを展開する工程を示す図であって、(a)は第4の折り畳み片9を開いた状態を示す図、(b)は次に第1の折り畳み片6を開いた状態を示す図、(c)は第2の折り畳み片7を開いた状態を示す図、(d)は第1の広告体4を折り畳んだ状態を示す図、(e)は第3の折り畳み片8を開き、第1の広告体4及び第2の広告体5を取り外した状態を示す図、図 20

【0014】

図1～図4に示すように、本パンフレット1は、ベースシート2の上下左右の端部に、内方へ折り畳み可能な折り畳み片6～9を延設してなるベース体3と、蛇腹状に折り畳まれた第1の広告体4と、第2の広告体5とを備えてなる。ベース体3、第1の広告体4及び第2の広告体5は、それぞれ紙製であるが、プラスチック等の他の素材を用いてもよい。

【0015】

第1の広告体4は、紙製のシートが蛇腹状に等幅で複数回折り畳まれてなる。第1の広告体4には案内、説明、広告等の記載がされており、第1の広告体4を広げることにより 30

【0016】

第2の広告体5は、ベースシート2と同形で一回り小さ目のシートが複数枚重ねられたものである。それぞれのシートに、案内、説明、広告等の記載がされる。なお、第2の広告体5はこれに限定されるものではなく、1枚もののシートでもよいし、複数枚のシートを重ねて綴じたものであってもよく、また、円状、星状、ハート状等の種々の形状を採用してもよい。

【0017】

ベース体3は、矩形のベースシート2と、そのベースシート2の向かって右端に設けられた第1の折り畳み片6と、左端に設けられた第2の折り畳み片7と、下端に設けられた第3の折り畳み片8と、上端に設けられた第4の折り畳み片9とからなる。ベース体3は、第3の折り畳み片8、第2の折り畳み片7、第1の折り畳み片6、第4の折り畳み片9の順に折り畳まれる。なお、第1の折り畳み片6と第2の折り畳み片7の位置を左右逆にしてもよいし、第1の折り畳み片6と第2の折り畳み片7を上下に設け、第3の折り畳み片8と第4の折り畳み片9を左右に設けるなど種々の形態をとってもよい。また、ベースシート2の形状は矩形に限られず、また、折り畳み片6～9の形状も種々の形状を採用し 40

【0018】

下端の第3の折り畳み片8とベースシート2との間は収容部10となる。ここに、第2の広告体5を収容することができる。第3の折り畳み片8は、ベースシート2の上端まで延設してもよいが、第2の広告体5に記載された広告内容を見やすいように、ベースシート2の中間よりも下までとされる。

【0019】

第1の折り畳み片6の端部には、第1の広告体4の幅方向の長さWと同程度の長さの開口が設けられ、第1の広告体4に係止する係止穴11となる。第1の広告体4の長手方向の一端の一折分を係止穴11に挿入することにより、第1の広告体4を第1の折り畳み片6に着脱自在に係止することができる。

【0020】

また、第2の折り畳み片7の端部には、第1の広告体4の幅方向の長さWと同程度の凹状の切欠部12が設けられる。第1の広告体4の他端の一折分が、第2の折り畳み片7とベースシート2との間に挟まれることにより、第1の広告体4を第2の折り畳み片7に着脱自在に固定することができる。その際に、切欠部12に第1の広告体4の他端側が嵌り込むことにより、第1の広告体4の幅方向へのずれを防止することができる。

【0021】

第1の折り畳み片6と第2の折り畳み片7は、互いに重ね合う位置まで延設される。図2～図4に示すように、具体的には、第1の折り畳み片6と第2の折り畳み片7とを重ね合わせた状態において、第1の折り畳み片6に設けられた係止穴11と、第2の折り畳み片7に設けられた切欠部12との距離L1が、第1の広告体4の一折分の長さL2と同一とされる。この構成により、第1の折り畳み片6及び第2の折り畳み片7の折り畳み状態では、第1の広告体4を折り畳んだ状態とすることができる。また、第1の折り畳み片6を開いた状態では、第1の広告体4を立体的に展開することができる。

【0022】

上端の第4の折り畳み片9はベースシート2の下端まで延設されて、表紙となる。

【0023】

上記のような構成によると、本実施形態のパンフレットは、表紙である上端の第4折り畳み片を開いた後（図3（a））、右端の第1の折り畳み片6を開くと、これに固定された第1の広告体4の一端が引っ張られると共に、他端は第2の折り畳み片7に固定されているので、蛇腹状に折り畳まれていた第1の広告体4が飛び出すように展開する。（図3（b））。

【0024】

次に、第2の折り畳み片7を開き、さらに第1の広告体4を第1の折り畳み片6側に折り畳むと、下端の第3の折り畳み片8とベースシート2との間の収容部10に収容されている第2の広告体5に記載された広告を見ることができる（図3（c）、（d））。

【0025】

なお、第1の広告体4の一端は第1の折り畳み片6の係止穴11に挿入されているだけであり、他端は第2の折り畳み片7とベースシート2との間に挟まれているだけなので、ベース体3から簡単に第1の広告体4を取り外すことができる。また、第2の広告体5も、第3の折り畳み片8とベースシート2との間に挟まれているだけなので、簡単に取り外すことができる。したがって、第1の広告体4及び第2の広告体5を単体で使うことができ便利である。

【図面の簡単な説明】

【0026】

【図1】本実施形態のパンフレットの正面図

【図2】A-A断面図

【図3】本実施形態のパンフレットを展開する工程を示す図であって、（a）は第4の折り畳み片を開いた状態を示す図、（b）は次に第1の折り畳み片を開いた状態を示す図、（c）は第2の折り畳み片を開いた状態を示す図、（d）は第1の広告体を折り畳んだ状態を示す図、（e）は第3の折り畳み片を開き、第1の広告体4及び第2の広告体を取り

10

20

30

40

50

外した状態を示す図

【図 4】 本実施形態のベース体であって、第 4 の折り畳み片を開いた状態を示す図

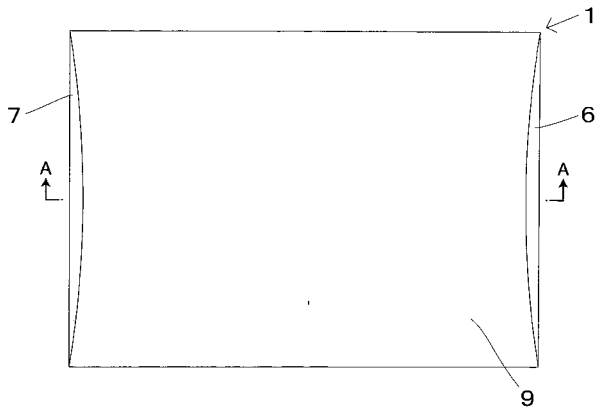
【符号の説明】

【0027】

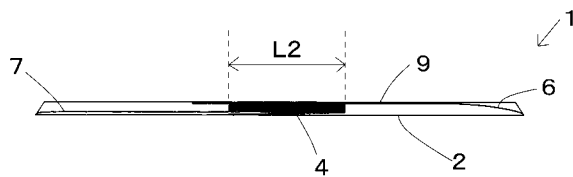
- 1 パンフレット
- 2 ベースシート
- 3 ベース体
- 4 第 1 の広告体
- 5 第 2 の広告体
- 6 第 1 の折り畳み片
- 7 第 2 の折り畳み片
- 8 第 3 の折り畳み片
- 9 第 4 の折り畳み片
- 10 収容部
- 11 係止穴
- 12 切欠部

10

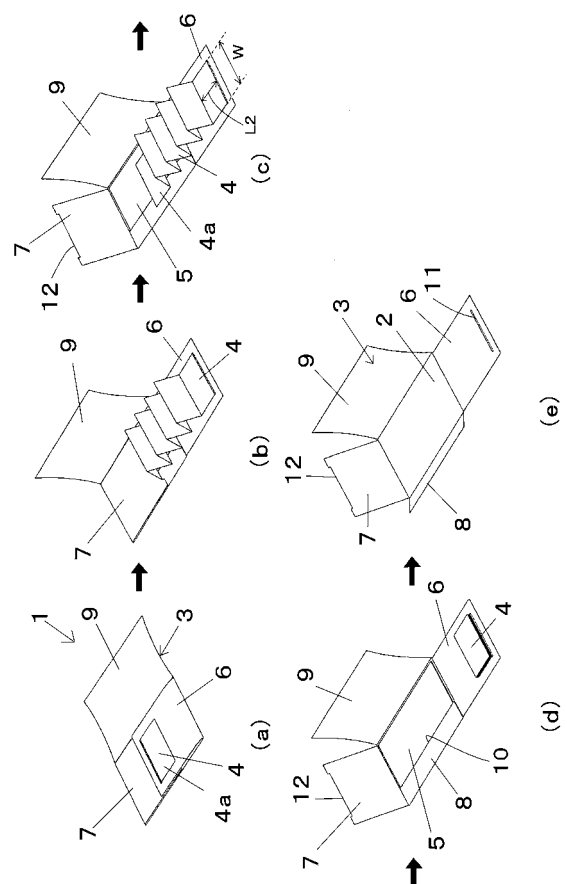
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

